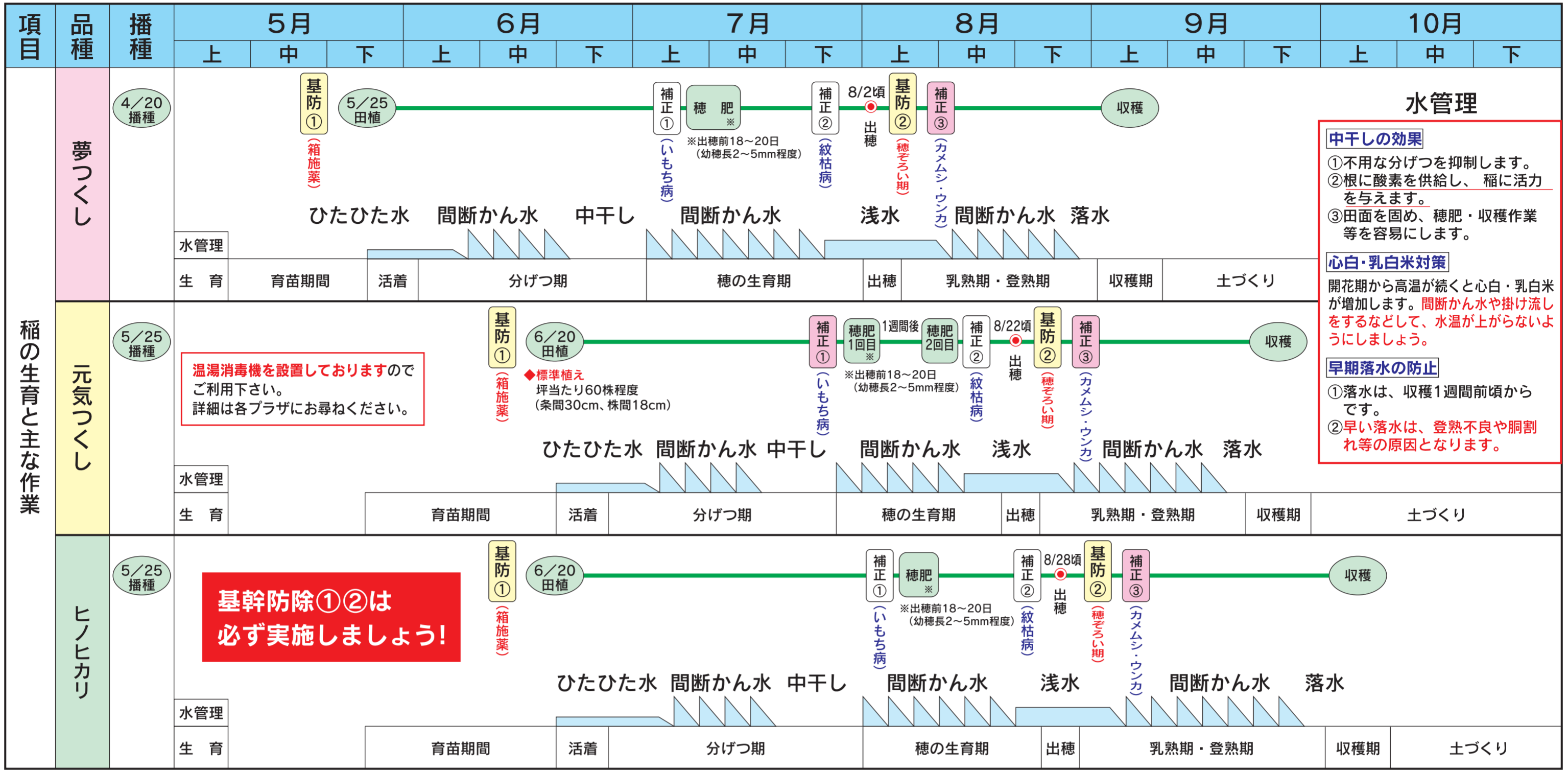


## 暑さに負けない稲づくりを目指しましょう!!

消費者が求めている安全・安心でおいしい米づくりをしよう!!



### 土づくり

●健全な土、丈夫な根づくりのために、土壌診断に基づき適切な土壌改良材を施用しましょう。(kg/10a)

資材名	施用量	施肥時期	効果
けい酸加里	40	4月~5月	登熟向上・微量要素供給・根張り向上
オイスターミネラル	60	年内~代かき前	通気性・保水性・保肥性の向上
石灰窒素	20	9月~12月	稲わらの腐熟促進

※レンゲ・菜の花等を活用し良い土を作りましょう。

### 施肥基準

◎基肥+穂肥の場合 (kg/10a)

品種名	肥料銘柄	施用量		穂肥の目安		成分量
		基肥	穂肥1・2	施用時期	幼穂長	
夢つくし	基肥 くみあい化成ベスト444 (14-14-14)	30	-	出穂前18~20日	2~5mm程度	N6.6 P4.2 K6.6
	穂肥 NK化成2号(16-0-16)	-	15			
元気つくし	基肥 くみあい化成ベスト444	35	-	出穂前18~20日	2~5mm程度	N7.9~8.1 P4.9 K7.3~8.1
	穂肥(どちらか選択) NK化成2号	-	10			
	エムコート206ワンショット(20-0-16)	-	15			
ヒノヒカリ	基肥 くみあい化成ベスト444	35	-	出穂前18~20日	2~5mm程度	N7.3~7.5 P4.9 K7.0~7.3
	穂肥(どちらか選択) NK化成2号	-	15			
	エムコート206ワンショット	-	13			

- 側条施肥の場合、基肥を上記の施用量より2割程度減らします。
- 夢つくし・ヒノヒカリの穂肥をしても葉色が出ない場合には、2回目の穂肥を施用する。NK化成2号の場合10kg/10a程度、詳細は営農指導員にお尋ねください。
- 元気つくしの2回目穂肥は1回目施用から7日後頃に施用する。

◎基肥一回全量施肥の場合 (kg/10a)

品種名	肥料銘柄	施用量		成分量
		全層	側条	
夢つくし(90日タイプ)	エムコート2000(20-10-10)	33	30	N6.6 P3.3 K3.3
元気つくし	LP2000(20-10-10)	40	35	N8.0 P4.0 K4.0
ヒノヒカリ	LP2000(20-10-10)	35	32	N7.0 P3.5 K3.5



●肥料、農薬の注文はJAへ!!

### 基幹防除(病害虫)

(農薬の飛散に注意しましょう)

(10a当り)

番号	対象病害虫	防除体系	防除適期
基防①	・いもち病 ・イネミズソウムシ ・ウンカ類 ・コブノメイガ	夢つくし・元気つくし・ヒノヒカリ 防人箱粒剤 50g/箱	移植3日前~移植当日
基防②	夢つくし ・ウンカ類・カメムシ類  夢つくし・元気つくし・ヒノヒカリ ・いもち病・紋枯病 ・ウンカ類・カメムシ類	粉剤体系 キラップ粉剤DL 3kg	液剤体系(希釈水量) キラップフロアブル 140ml(1400)
		粒剤体系 キラップ粒剤 3kg	出穂期~穂ぞろい期
		ダブルカットフロアブル 140ml(1400) モンセレンフロアブル 93ml(1400) キラップフロアブル 140ml(1400)	ゴウケツモンスター粒剤 3kg 出穂5日前まで ただし収穫45日前まで
			出穂期~穂ぞろい期 夢つくし・いもち病の常発地域はこちらを使用して下さい。

※近年ウンカ・カメムシの被害が増えています。基幹防除は必ず実施しましょう。

### 補正防除

(10a当り)

番号	対象病害虫	粉剤	液剤(希釈水量)	粒剤	防除適期
-	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)	-	-	スクミノン 1~4kg	移植直後~2週間後
補正①	いもち病	-	ダブルカットフロアブル 140ml(1400)	コラトップジャンボP 10~13パック	発生初期 粒剤は、出穂20日~10日前に散布する。
補正②	紋枯病	モンセレン粉剤DL 3kg	モンセレンフロアブル 93ml(1400)	-	出穂10日前頃に散布する。
補正③	カメムシ類、ウンカ類	キラップ粉剤DL 3kg	キラップフロアブル 140ml(1400)	スタークル粒剤 3kg スタークルつぶ 250g	カメムシ類は(基防②)の1週間後に散布。

### 雑草防除

◎初・中期除草剤 (10a当り)

剤	除草剤名	成分数	使用時期	使用方法	使用上の注意
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	2成分	移植時~ノビエ3.0葉期	1kg	代かきはいないに行い、田面を均平にする。 散布時はやや深めに湿水し、田面が露出しない状態で散布する。 豆つぶ剤、フロアブル剤、ジャンボ剤は漏水田・軟弱苗、浅植では使用を避ける。 ジャンボ剤は水深を5cm以上に保ち、水田に均等に投げ込む。 ジャンボタニシ多発田では、水管理に注意する。
	エンペラー1キロ粒剤	3成分	移植時~ノビエ3.0葉期		
	(注)ポテガードプロ1キロ粒剤	2成分	移植時~ノビエ3.5葉期		
豆つぶ剤	ガンガン豆つぶ250	2成分	移植後3日~ノビエ2.5葉期	250g	湿水
フロアブル剤	サラブレッドKAIフロアブル	3成分	移植時~ノビエ2.5葉期	500ml	
ジャンボ剤	(注)プライオリティジャンボ	2成分	移植直後~ノビエ3.5葉期	10パック	
	ウルティモZジャンボ	3成分	移植後5日~ノビエ3.0葉期		

(注)ポテガードプロ・プライオリティジャンボは後作物のなす・たまねぎ・さやえんどうに薬害の恐れがありますのでご注意ください。  
 ●除草効果を高めるために散布時期を守り、散布後1週間は湿水状態を保ち、掛け流しはしない。  
 ●同じ除草剤を連年使用すると、特定の雑草が増えるので、他の除草剤を使用する。

◎中・後期除草剤 (10a当り)

対象雑草	除草剤名	成分数	使用時期	使用方法	使用上の注意
ノビエ葉	クリンチャーバスME液剤	2成分	移植後15日~ノビエ5葉期(但し、収穫50日前まで)	水量 1000 薬量 1,000ml	・クリンチャーバスME液剤は、散布1~2日前に落水し、雑草の茎葉によく付着するように散布すること。また、高温時散布は避けて、夕方に散布を行う。 ・キシュウスズメノヒエが多い時は、クリンチャーEWを使用して下さい。
カヤツリグサ	ワイドショット1キロ粒剤	2成分	移植後15日~ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで)	1kg/10a 湿水散布	

●JA米の要件を満たさない米穀は、農業倉庫へ一般米として出荷して下さい。

●栽培管理記録を必ず記載し提出しましょう。